

# 隅 藏 康 一 教 授

---

専門分野：知的財産政策、科学技術イノベーション政策

学 位：博士（工学）、東京大学

略 歴：1993年東京大学理学部卒、1995年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、1995年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、1998年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、1999年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授。2012年6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授。2014年6月より本学准教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ客員総括主任研究官（2015年6月まで）。2016年本学教授。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 雑誌論文（共 著）

- \* Siriporn Pittayasophon, Patarapong Intarakumnerd, Koichi Sumikura, Hiromi Saito & Jun Suzuki “Firm Characteristics and Modes of University-Industry Collaboration: Cases of Japan and Thailand,” *STI Policy Review*, 7, 17–39 (2016).

### (2) 学会発表

- \* 隅藏康一「合成生物学ならびにゲノム編集の社会実装における課題」、日本機械学会2016年度年次大会、九州大学、2016年9月12日。
- \* Koichi Sumikura and Hiromi Saito, “How can We Promote Development of New Drugs from Academic Knowledge?: Focusing on Corporate Perspective on Contribution of Basic Research to Innovation,” PICMET ‘16, Honolulu, September 4<sup>th</sup>–8<sup>th</sup>, 2016. (口頭発表は隅藏による)
- \* Hiromi Saito and Koichi Sumikura, “Drug Development Abandonment Stage for Japanese Pharmaceutical Companies,” PICMET ‘16, Honolulu, September 4<sup>th</sup>–8<sup>th</sup>, 2016. (口頭発表は齋藤による)
- \* Koichi Sumikura, Kazuma Edamura, Yoko Furusawa and Yoshinao Onuma, “Relationship between innovation and intellectual property in Japanese corporations,” 13<sup>th</sup> ASIALICS, Bangkok, October 3<sup>rd</sup>–4<sup>th</sup>, 2016. (口頭発表は隅藏による)
- \* 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・小沼良直・今村努・林隆臣「イノベーションの実現に影響を及ぼす要因：日本の医療関連企業の事例から」、研究・イノベーション学会第31回年次学術大会、青山学院大学、2016年11月6日。(口頭発表は隅藏による)
- \* 小沼良直・林隆臣・今村努・隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨「規制が企業の研究開発活動やイノベーションに与える影響」、研究・イノベーション学会第31回年次学術大会、青山学院大学、2016年11月6日。(口頭発表は小沼による)
- \* ElHassan ElSabry and Koichi Sumikura, “Who Needs Access to Research? The Case of Pharmaceutical Industry,” The 11<sup>th</sup> Munin Conference on Scholarly Publishing 2016, November 21<sup>st</sup>, 2016, Tromso, Norway. (口頭発表はElHassanによる)
- \* 古澤陽子・枝村一磨・高橋真木子・隅藏康一「大学における産学連携実施状況の経年変

- 化に関する分析」、日本知財学会第14回年次学術研究発表会、日本大学、2016年12月3日。(口頭発表は古澤による)
- \* 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子「企業の知的財産活動に関する調査—平成27年度民間企業の研究活動に関する調査より—」、日本知財学会第14回年次学術研究発表会、日本大学、2016年12月3日。(口頭発表は枝村による)
  - \* 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・小沼良直「日本企業におけるイノベーションと知的財産の関係」、日本知財学会第14回年次学術研究発表会、日本大学、2016年12月4日。(口頭発表は隅藏による)
  - \* Koichi Sumikura and Hiromi Saito, “HOW ARE INNOVATION AND INTELLECTUAL PROPERTY INTERRELATED?: SURVEY ON JAPANESE COMPANIES,” AAAS 2017 Annual Meeting. (ポスターセッション; 口頭説明は隅藏による)
  - \* Hiromi Saito and Koichi Sumikura, “IMPACT OF SCIENCE ON SOCIO-ECONOMY: AN EMPIRICAL STUDY BASED ON QUESTIONNAIRE SURVEY,” AAAS 2017 Annual Meeting. (ポスターセッション; 口頭説明は齋藤による)
- (3) その他
- \* 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子『日本企業の研究開発戦略と研究開発活動—民間企業の研究活動に関する調査のパネルデータを用いた企業レベルの分析—』、NISTEP DISCUSSION PAPER No. 132、2016年。
  - \* 文部科学省科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ(富澤宏之・古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一)『民間企業の研究活動に関する調査報告2015』、NISTEP REPORT No.168、2016年。
  - \* 講演: 「Responsible innovation と法工学」、日本機械学会2016年次大会、ワークショップ「イノベーション研究の潮流」、九州大学、2016年9月12日
  - \* 講演: 「Function of Intellectual Property Rights for Innovation-friendly S&T Policy」、日中韓セミナー(NISTEP等共催)、韓国・扶余、2016年10月18日
  - \* 座長: 日本知財学会第14回年次学術大会、知財制度論セッション、2016年12月4日

## 2. 業績(B)

- (1) 書評・解説等
- \* 隅藏康一(2016)「法工学のこの一年」、機械工学年鑑2016の24・1。
- (2) その他
- \* 隅藏康一「合成生物学ならびにゲノム編集の社会実装における課題」『日本機械学会2016年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中1頁(2016年)
  - \* Koichi Sumikura and Hiromi Saito, “How can We Promote Development of New Drugs from Academic Knowledge?: Focusing on Corporate Perspective on Contribution of Basic Research to Innovation,” Proceedings of PICMET ‘16, 989–995 (2016).
  - \* Hiromi Saito and Koichi Sumikura, “Drug Development Abandonment Stage for Japanese Pharmaceutical Companies,” Proceedings of PICMET ‘16, 3230–3239 (2016).
  - \* 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・小沼良直・今村努・林隆臣「イノベーションの実現に影響を及ぼす要因: 日本の医療関連企業の事例から」『研究・イノベーション学会年次学術大会要旨集』31巻、570–573頁(2016年)

- \* 小沼良直・林隆臣・今村努・隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨「規制が企業の研究開発活動やイノベーションに与える影響」『研究・イノベーション学会年次学術大会要旨集』31 巻、810-813 頁 (2016 年)
- \* 古澤陽子・枝村一磨・高橋真木子・隅藏康一「大学における産学連携実施状況の経年変化に関する分析」『日本知財学会第 14 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2016 年)
- \* 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子「企業の知的財産活動に関する調査—平成 27 年度民間企業の研究活動に関する調査より—」『日本知財学会第 14 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2016 年)
- \* 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・小沼良直「日本企業におけるイノベーションと知的財産の関係」『日本知財学会第 14 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2016 年)

### 3. 助成金等による研究

- \* 科研費（基盤研究 B：15H03377）「学術的知識の導入が企業におけるイノベーション創出に及ぼす影響」（2015–2017 年度）研究代表者
- \* 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）NEDO プロジェクトの効果測定及びマネジメントに関する研究（平成 28 年度募集）「企業間連携及び産学連携を効果的に実施するための方策に関する研究」研究代表者 ※助成金ではなくデータの提供を受ける公募事業

### 4. 教育

#### (1) 講義

- \* 高等教育政策・産学連携政策 / Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation (秋学期)

#### (2) 演習

- \* 科学技術イノベーション政策 リサーチセミナー I-IV / Science, Technology and Innovation Policy, Research Seminars I-IV

#### (3) 論文指導

- \* 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程 4 名（主指導 3 名、副指導 1 名）、修士課程 1 名（主指導 1 名）

#### (4) 研修事業

- \* ベトナム共産党幹部研修 アドバイザー

### 5. 管理・運営への関与

#### (1) 委員会

- \* 科学技術イノベーション政策プログラム（修・博）・コミティー
- \* 図書館運営委員会
- \* 不正防止計画推進室

#### (2) タスクフォース

- \* GIST プログラム・SciREX センター中期目標・計画検討タスクフォース

(3) その他

- \* 政策研究センターリサーチプロジェクト:大学の専門スタッフが外部資金獲得や産学連携活動に及ぼす効果に関する研究プロジェクト 研究代表者
- \* 産学連携人材の育成に関する研究会 (政策研究センター学術会議支援事業、全8回)
- \* ベトナム科学技術政策・戦略研究所 (NISTPASS) 来訪 (9/28) MOU 調印式出席・ディスカッション
- \* GIST セミナー「シリコンバレーの形成とムーアの法則」(6/13) 司会進行
- \* SciREX センター SciREX コアカリキュラム編集委員会 委員
- \* 図書選定 (総合政策グループ)
- \* 教員選考委員会 (1件) メンバー

6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体等における活動

① 審議会等

- \* 衆議院経済産業調査室 客員調査員
- \* 農林水産技術会議 平成28年度委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した農産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」運営委員会 委員
- \* 裁判所 専門委員 (東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属)

② その他

- \* 日本学術振興会 平成29年度科学研究費委員会 審査第二部会 複合領域I小委員会委員

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師

- \* 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 知財学特論A「バイオ特許戦略」(前・後期に各2単位)
- \* 東京大学大学院 総合文化研究科 統合自然科学科「知財・技術経営論」(2単位)
- \* 早稲田大学大学院 理工学術院 「知的所有権特論」(1単位)
- \* 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 “Life Innovation Leadership Development” の一部として、“Research Ethics, Laboratory Management and Intellectual Property” の講義を実施 (90分1コマ)
- \* 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題」の講義を実施 (90分1コマ)

② 委員会等

- \* 東京大学医科学研究所 オーダーメイド医療の実現プログラム ELSI 検討委員会 委員

③ その他

- \* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ 客員研究官
- \* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所・科学技術動向調査センター 専門調査員
- \* 北陸先端科学技術大学院大学 博士論文審査 外部審査委員 (1件)
- \* 信州大学大学院 医学系研究科 CITI Japan (Collaborative Institutional Training Initiative Japan) プロジェクト 外部協力教員
- \* 慶應義塾大学 リーディング大学院プログラム「第1回政策提言公聴会」(2017年2月)

- 27日) コメンテーター
- (3) 財団法人等における活動
- ① 役員, 委員会
- \* 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
  - \* 認定特定非営利活動法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン 倫理委員会 委員
  - \* 医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) 相談役
  - \* 公益財団法人東京都中小企業振興公社 東京都知的財産総合センター グローバルニッチトップ助成事業 審査委員
  - \* 一般社団法人発明推進協会 産業財産権人材育成協力事業 インドネシアからの研修生 (1名) のアドバイザー
- ② その他
- \* 特定非営利活動法人 21世紀構想研究会 メンバー (知的財産委員会 委員)
- (4) 学会等における活動
- \* 研究・イノベーション学会 事務局担当理事
  - \* 日本知財学会 学会誌企画委員長
  - \* 日本機械学会 法工学専門会議 運営委員長
  - \* *Asian Research Policy*, Editorial Board Member

## 7. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
- ① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)
- \* “Is science only for the rich?” *Nature* vol. 537, 466–470 (22 September 2016) にて、日本の研究者人材の状況についてコメント。
- ② 電波メディア (テレビ, ラジオ等)
- \* NHK World Radio Japan のニュースにて、大隅良典先生のノーベル賞受賞について、ならびに、日本の基礎研究を今後どのように進めていくべきかについてコメント。(2016年10月12日)
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- \* 講演: 「Responsible Life Innovation: ~生命科学に基づく責任あるイノベーションを目指して」、日本経営学会連合講演会、2016年11月19日
  - \* 講演: 「Life Science Innovation in Japan」、駐日欧州連合(EU)代表部、2016年11月11日
  - \* 講演: 「知の移転」、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課/政策研究大学院大学 SciREX センター主催「エビデンスに基づく科学技術イノベーション政策形成のための実務者研修 2016」第4回「STI ダイナミクス」、2017年3月21日
  - \* 総合オーガナイザーとして主宰: 知的財産マネジメント研究会 (Smips)、2016年4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、10月15日、11月12日、12月10日、2017年1月14日